

【活動方針・重点課題】

東京オリンピック・パラリンピック 2020 の開催の年を迎えました。また、我々道民にとっては非常にうれしい報告として、マラソンと競歩が札幌で実施されることになりました。この国際的なイベントの一端を本会会員が担えるということは、非常に名誉なことです。

今年度は、本会の会員数が 7,000 名に迫ろうとしている中、理学療法士に対する対外的なニーズが質・量ともに急激に伸びてきています。オリンピック・パラリンピック等のスポーツ大会への支援、超高齢社会に対する支援、災害時の支援など、多くの道民が我々の通常診療以外の部分でも理学療法士へ期待を寄せています。ただ、これらの活動を実施していくためには、理学療法士の質の向上、組織力の強化、そして多くの周辺の方々の理解が必要となります。現代社会に理学療法士の必要性を周知するためにも、地域包括ケアシステムへの参画を中心とした事業展開を続けて行かなければなりません。

1. 地域包括ケアシステム関連事業の推進と強化

地域包括ケアシステムの確立に向け、本会では日本理学療法士協会が全国展開を進めているシルバーリハビリ体操指導士育成のモデル事業を展開しています。既に道北支部では広がりを見せていますが、この事業については北海道リハビリテーション専門職協会（HARP）を窓口として継続します。HARP で受託した基金による介護予防のモデル事業を全道で展開できるようにご理解をお願いします。会員に対する研修事業も継続して実施しますので、できるだけ多くの会員の受講をお願いします。

昨年、新設した社会局災害リハビリテーション支援部の活動は、地域住民による平時からの連携が災害時にも活用できるようにするという基本理念で進めています。会員にあっては、勤務地（居住地）の当該支部・振興局・市町村の災害支援の状況についても把握いただき、支援体制の整備に繋げていただければ幸いです。

2. 組織力強化のための管理者ネットワークの充実

組織力強化の為には会員への情報伝達が重要です。その手段のひとつとして管理者ネットワークの充実が必要となります。管理者ネットワークの充実を推進するためにも全施設での管理者登録を進め、機能的な活用に繋がります。各支部での協会指定管理者の初級研修会の開催方法を更に工夫し、施設管理者上級の取得を推進します。

また、本会の組織力を強化するためには、各市町村との関係構築も重要です。179 市町村に対応できる士会組織が求められているので、各地域における行政を含めた外部との関係づくり強化のために支部内の組織力強化も併せて進めていきたいと考えています。

加えて、本年は診療報酬改定の年となっていますので、情報提供や情報の整理・配信等を行います。

3. 学術・教育活動の推進

2021 年度より開始される日本理学療法士協会の新生涯学習システムを踏まえて、学術局・教育局の連携事業を推進します。理学療法士の資質向上の基本となる新人教育プログラムの履修・修了を継続して促進させるとともに若手会員の臨床能力の向上に取り組むために研修会の開催を進めます。

「理学療法士及び作業療法士の学校養成施設指定規則」の改正の中で臨床実習指導者講習会受講が義務化され、昨年より全国リハビリテーション学校協会北海道ブロックと連携して当該講習会の開催が始まりましたが、本年度も引き続き道内各地で開催し、臨床実習体制の整備を進めます。

また、介護予防やスポーツ関連の人材育成の講習会も継続して開催していきます。

4. 道民の健康増進と障害予防の推進

昨年、新設した健康スポーツ局は、道民の運動習慣の支援・啓発、障害を持った方への適切な運動支援・啓発を目的に事業展開を進めます。道民の健康増進・障害予防に繋がるよう予防理学療法の普及促進を継続します。具体的には、市民スポーツ大会や他団体からの派遣要請を支援し、この領域で活躍できる会員の育成、そして会員のデータベースの充実を図ります。

5. 効率的事業運営のための執行体制の整備・充実

会員数が増加し、各部局・各支部における事業活動も活発となり、事務処理等にかかる作業も急激に増えています。当該部局における事業展開を支えるために事務作業を士会事務局へ集約し、より一層の強化・効率化を進めます。

また、昨年から副会長の役割を明確にし 4 名体制で進めていますが、渉外活動を含め士会事業の活性化に繋げていきます。

その他、新設部局の活動が具体的に始まりましたが、各部局の事業活動を円滑に進めるために事務局体制を中心とした整備について検討していきます。

《令和 2 年度重点事業計画》

1. 地域包括ケアシステム関連事業の推進と強化
2. 組織力強化のための管理者ネットワークの充実、積極的活用
3. 学術・教育活動の推進
4. 道民の健康増進と障害予防の推進
5. 効率的事業運営のための執行体制の整備・充実

令和2年度（2020年度）事務局事業計画

事務局

副会長

柿澤 雅史

【活動方針・重点課題】

昨年度、局や部の新設に伴い、定款、定款細則等、規程の一部変更を行いました。また、会計マニュアルに基づく煩雑さを少しでも解消すべく、支部、部局からの提出に係る方法を再検討しましたが、いまだ、分かりにくさがあり、令和2年度は、さらなる精査と共に、その他の各規程や内規を見直し、効率的な事務処理を図っていきます。毎年、会員数は劇的に増加し、北海道リハビリテーション専門職協会（HARP）の基金事業並びに市町村からの委託事業も年々増えており、実質的に、この事務処理も担っている本会事務局の負担は大きくなっていますが、外部委託の可能な部分がないかも視野に入れて、経費とのバランスを考慮しながら、検討します。事務局内における業務分掌の整理を行いました。職員の入退職から、未だ安定した分担となっていません。これについては、業務量や内容から再度の見直しを図りつつ、職員の就業が定着するよう努力いたします。また、会員への情報伝達手段でもあるホームページは、会員自らが積極的に見にいかねば必要な情報は得られず、メルマガの登録も進んでいない中、管理者ネットワークの活用は、非常に有効であると考えます。その利用方法や伝達内容を整理し、積極的発信ができるよう検討します。

【各部事業】

〈総務・財務部〉

〈公1：医療保健福祉事業〉

- ・行政等が設置する各種諮問委員会等への委員の派遣
- ・講師の派遣（事務局職員等・専門職派遣事業）
- ・北海道リハビリテーション専門職協会介護予防支援事業

〈その他事業〉

- ・監督官庁・関連団体との渉外活動
- ・代議員総会の企画運営
- ・文書管理（発行文書、受領文書、会議録、議事録、報告書など）
- ・会員管理（異動、慶弔、主催共催事業参加状況など）
- ・他部局支援（受講受付、発送業務、集計業務、ニュース割り付け、学術奨励賞、社会分野奨励賞等）
- ・財務管理（財務執行、予算、事業支出・収入、会費、租税公課、補助金など）
- ・新年交礼会の企画運営
- ・ホームページ管理

【事務局派遣協力事業】

- ・北海道総合在宅ケア事業団への協力および事業参加

【関係団体協力事業】

- ・北海道医療・福祉関係職能団体等意見交換会への参加協力
- ・北海道医療技術者団体連絡協議会への参加協力
- ・北海道肢体不自由児者福祉連合協会への参加協力

令和2年度（2020年度）学術局事業計画

学術局

局長

橋田 浩

【活動方針・重点課題】

2021年度より開始される新しい生涯学習システムを踏まえ、教育局との連携を図りながら学会研修部・学術誌部・専門領域部が有機的に機能し、会員のキャリアステージを考慮した研修体制の充実、プロフェッションとしての情報発信を目指します。学会研修部においては、1) 学術大会の開催および計画支援、2) 学術研修大会の開催および計画支援、3) 学術大会演題登録・査読システムの活用による質の高い発表内容の充実、4) スムーズな学会運営のシステム作成、学術誌部においては、1) 学術誌部会議による投稿者数の増大の検討、2) 編集会議による投稿規定の見直し、3) 北海道理学療法第37巻の発刊、専門領域部においては、1) 技術講習会及び理学療法士講習会（応用編）の企画運営による受講者数の増大、2) 新生涯学習システムを考慮した技術講習会、理学療法士講習会（応用編）の企画、を進めて参ります。

【各部事業】

〈学会研修部〉

《公2：学術振興事業》

- ・学会研修部会議
- ・第71回北海道理学療法士学術大会（道北支部：旭川市）の開催支援
- ・第72回北海道理学療法士学術大会（道南支部：函館市）の開催計画支援
- ・第73回北海道理学療法士学術大会（日胆支部）の開催計画支援
- ・学会間の引継ぎ支援
- ・学術研修大会の開催支援および公募・採択
- ・学術大会演題登録・査読システムの活用

〈学術誌部〉

《公2：学術振興事業》

- ・学術誌部会議
- ・北海道理学療法37巻の編集会議・発刊

〈専門領域部〉

《公2：学術振興事業》

- ・専門領域部会議
- ・学術・教育局合同会議
- ・各専門領域の技術講習会開催（第213回～218回）
 - 「心・大血管リハビリテーション」（開催予定：2020年11月～2021年3月）
 - 「片麻痺の評価と治療～姿勢制御に基づくアプローチ～（仮）」（2020年10月26日～27日）
 - 「2型糖尿病の理学療法」（2021年2月～3月）
 - 「呼吸リハビリテーション」（2020年10月～12月）
 - 「生活環境支援に必要な下肢装具の考え方～中枢神経領域を中心に～（仮）」（2020年9月～10月）
 - 「神経難病患者の理学療法の評価と治療～パーキンソン病を中心に～（仮）」（2020年6月）
- ・理学療法士講習会（応用編）の開催
 - 「膝スポーツ障害に対する理学療法」（2020年5～6月）
 - 「小児急性期医療領域における理学療法介入～アセスメントと実際（仮）」（2020年8月29日～30日）
 - 「事例を通して生活環境調整の理解を深めよう（仮）」（2020年9月～10月）
 - 「足部・足関節疾患の理学療法評価と治療」（2020年10月24日～25日）
 - 「ニューロサイエンス（神経科学）に基づく、運動姿勢と学習」（2020年11～12月）

令和2年度（2020年度）教育局事業計画

教育局

局長

加藤 新司

【活動方針・重点課題】

教育局は、会員の卒後教育の一環を担い、協会の新人教育に合わせ基礎力向上のための研修会、講習会の企画、実施や、健康増進・障害予防等の公益事業に資する人材の育成を図ることにより、道民の保健・医療・福祉に貢献することを目的に教育部と職域教育部の二つの部で活動します。

1) 教育部は、協会の新生涯学習システムを見据えた新人教育プログラムの履修促進と若手会員の臨床能力向上、新人教育プログラムを終了した会員に対し認定理学療法士の取得を促進していくことを重点目標とし事業展開していきます。新人教育プログラムは、昨年同様、必須初期研修会を札幌と帯広にて開催し、多くの会員が受講できるようにします。加えて複数テーマを同時に受講できる選択研修会も例年通り実施していきます。若手会員に対する臨床能力向上のための事業では、理学療法士講習会を昨年度同様に10本、総受講定員約840名という規模で開催していく予定です。また来年度から臨床実習指導者研修会を学校協議会との連携のもと教育部事業として道内7地域、総受講定員570名で開催していく予定となっています。

2) 職域教育部は、介護予防関係や道内スポーツ関連への傷害予防に向け、人材育成をはかるためスポーツ支援育成講習会と健康支援育成講習会を例年通り実施していく予定です。来年度はオリンピックを見据え、スポーツ支援講習会の定員を拡大し実施していきます。また健康支援育成講習会は例年通りの開催予定とし、必要に応じ職能局との連携をとり柔軟に事業展開できるよう対応していくことを考えています。

【各部事業】

〈教育部〉

《公2：学術振興事業》

- ・ 教育部会議
- ・ 理学療法士講習会（基本編理論8本、技術2本）

徒手的理学療法の基礎～脊柱骨盤に関して～	受講定員 100名
観察による歩行分析	受講定員 100名
画像の診方	受講定員 100名
変形性膝関節症と腰痛症に対する評価と治療	受講定員 100名
脳血管障害及び神経難病に対する評価と治療	受講定員 100名
呼吸リハビリテーションにおける評価と治療	受講定員 80名
心臓リハビリテーションにおける評価と治療	受講定員 80名
生活環境支援理学療法に必要なマネジメントと実践	受講定員 100名
関節可動域治療の基本～下肢に対する関節可動域治療手技（基本編実技）	受講定員 40名
関節可動域治療の基本～上肢に対する関節可動域治療手技（基本編実技）	受講定員 40名

《その他事業》

- ・ 新人教育プログラム
 - 必須初期研修会（A1～5）（札幌開催 370名、帯広開催 100名定員予定）
 - 選択研修会（B～Eの6テーマ）（札幌開催）
- ・ 臨床実習指導者研修会（札幌、釧路、帯広、北見、函館、旭川、他） 受講定員 570名
- ・ 新人教育プログラムテーマ承認作業（総務部と協働）

〈職域教育部〉

《公2：学術振興事業》

- ・ 第27回スポーツ支援育成講習会 受講定員 40名
- ・ 第28回スポーツ支援育成講習会 受講定員 100名

- | | |
|--------------------|------------|
| ・第 29 回スポーツ支援育成講習会 | 受講定員 100 名 |
| ・第 14 回健康支援育成講習会 | 受講定員 40 名 |

令和2年度（2020年度）社会局事業計画

社会局

局長

近藤和夫

【活動方針・重点課題】

社会局は理学療法士と社会（地域）、双方の窓口として、理学療法士が専門知識・技術をもって社会貢献する会員を支援するとともに、理学療法（士）の啓発を行うことに主眼に活動しております。

各部における令和2年度の計画は以下の通りです。介護予防・健康増進支援部では、他団体からの派遣要請に対しても引き続き会員の皆様のご協力を得ながら対応してまいります。企画推進部では、各支部での啓発活動を継続支援するとともに幅広い世代に対応するための啓発パッケージの模索を継続します。広報部では、士会ニュースの改定をおこなうとともに、会員への情報発信の見直しを検討していきます。災害リハビリテーション支援部では、災害時に枠にとらわれずに支援活動できる組織づくりをおこない、会員に向けて当部の周知を計りたいと考えています。

また、札幌市内での活動においては札幌支部との調整を図りながら実施することも重点課題として捉えています。

【各部事業】

〈介護予防・健康増進支援部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・いきいき健康・福祉フェア2020への企画参入と出展
- ・札幌刑務所社会復帰支援プログラムへの講師派遣
- ・けんこうフェスタ2020inちゅうおう&健康づくりセンターフェスタへのスタッフ派遣
- ・STVラジオ「工藤じゅんきの十人十色」健康一口メモコーナー出演講師派遣・調整
- ・介護予防・健康増進関連事業へのスタッフ派遣・調整1（依頼先から謝金無いもの）
- ・介護予防・健康増進関連事業へのスタッフ派遣・調整2（老人福祉センターへの派遣）

〈企画推進部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・支部社会部長会議
- ・理学療法週間事業（支部との連携・支援・広報物品の調整）
- ・北海道医療技術者団体連絡協議会パネル展への出展
- ・道民向け啓発セミナー1（パッケージ制作と周知）
- ・道民向け啓発セミナー2（小学生及びその保護者対象）
- ・社会分野小委員会の開催に関すること（社会分野奨励賞）

〈広報部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・啓発用リーフレットの作成
- ・ホームページへ掲載する啓発原稿の作成

《公2：学術振興事業》

- ・士会ニュース「Northerner」の編集・発行、取材・撮影

〈災害リハビリテーション支援部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・災害リハビリテーション・マニュアルの作成
- ・支援活動派遣者登録リストの作成（必須研修会の開催）

令和2年度（2020年度）職能局事業計画

職能局

局長

時永 広之

【活動方針・重点課題】

職能局は支部職能部と連携して、地域包括ケアシステムの推進の支援及び、職能団体としての機能充実に向け、管理者ネットワークの充実に向けた活動を継続して行います。

保険事業部では、診療報酬及び介護報酬関連の情報収集と整理、情報配信、会員からの疑義解釈について回答、調査を継続して実施します。また、制度の変更や方向性を意識した研修・意見交換等を企画します。

職域事業部では、職能領域拡大に向けた社会・医療関連情報、職場環境等の情報の収集と会員への提供を通じて、会員の職能関連施策に関する視野の拡大を図る活動を継続します。職場・職域偏倚への対応として介護保険領域への活動を継続します。休職者の職場復帰に向けての支援についても継続していきます。また、職域に関する状況把握調査を実施し、会員のおかれている環境実態の把握、課題分析等を行います。その他、協会指定管理者研修会を企画し、各支部での開催支援を行います。

地域包括ケア推進部では、会員への地域包括ケアシステムに対する啓発と地域における介護予防、ケア会議への参加を担う人材への研修を行っていきます。また、各支部に装具相談窓口を設立するための活動や、北海道リハビリテーション専門職協会と連携した各地域の会員への広報活動を継続します。

【職能局事業】

《公2：学術振興事業》

- ・支部職能部合同会議
- ・理学療法士講習会（基本編 理論）結果を出すためのマネジメント

【各部事業】

〈保険事業部〉

《その他事業》

- ・診療報酬及び介護報酬関連の情報収集・整理・情報配信
- ・診療報酬及び介護報酬関連の会員からの質問への回答
- ・診療報酬及び介護報酬関連の調査
- ・診療報酬及び介護報酬改定に伴う制度についての研修・意見交換等の企画

〈職域事業部〉

《その他事業》

- ・職域事業部会議
- ・理学療法士の職域拡大に向けた啓発・提案事業
- ・会員動向把握事業
- ・職能に関する情報提供事業
- ・施設管理者ネットワーク構築事業
- ・初級管理者研修の企画と支部における開催支援
- ・復職支援事業担当会議
- ・休職している会員対象ワークショップ
- ・介護予防事業で理学療法業務から離れている会員の活用検討事業
- ・北海道の理学療法士数の職域偏倚緩和に向けた事業
- ・介護保険領域の従事を考えてもらうためのワークショップ
- ・介護施設での実習受け入れ増加を目的としたワークショップ
- ・養成校における介護保険領域の講話検討会議
- ・養成校における介護保険領域に関する意識・知識の実態調査

- ・職域事業部内データベース管理事業

〈地域包括ケア推進部〉

《公2：学術振興事業》

- ・地域包括ケアシステムを学ぼう
- ・地域包括ケア研修会（中堅対象）
- ・地域ケア会議リーダー導入研修会
- ・介護予防推進リーダー導入研修会

《その他事業》

- ・地域包括ケア推進部全体会議
- ・装具相談窓口設立事業（支部活動支援・学会でのブース設置を含む）

令和2年度（2020年度）健康スポーツ局事業計画

健康スポーツ局

局長

長井 豊貴

【活動方針・重点課題】

健康スポーツ局は、2020東京オリンピック・パラリンピックを契機に健康スポーツに対する関心が強く
なっている地域社会の現状を踏まえ、人生（ライフステージ）で運動習慣を支援・啓発する「生涯ス
ポーツ支援部」と障がいを持った方への適切な運動を支援・啓発する「障がい者スポーツ支援部」を有す
る事業局として2019年6月より新設されました。

生涯スポーツ支援部は、これまで社会局スポーツ支援部で担っていた事業を継承しながら、運動習慣を
含むスポーツ領域での地域健康保健に寄与できるよう活動してまいります。具体的には、高野連メディカ
ルサポートの活動支援を継続し、スポーツ関連事業へのスタッフ派遣などをしながらスポーツメディカル
サポート会員の情報収集をしてまいります。また、2020年度は北海道マラソンに代えてオリンピック・パ
ラリンピックへのボランティア活動に参加する会員に対し活動支援をしてまいります。

障がい者スポーツ支援部は、パラスポーツ活動を支援する他、パラスポーツ分野で活躍する理学療法士
の情報管理や派遣調整を行い、地域健康保健に寄与できるよう活動してまいります。具体的には、道内
で行われているパラスポーツイベントに出向き、パラスポーツの理学療法士の活躍を紹介するなどの情報配
信や理学療法士の関りの少ないパラスポーツへのきっかけ作りの他、パラスポーツ体験会等の実施により
パラスポーツ関心度を高めるなど啓発活動も行います。

【各部事業】

〈健康スポーツ局共通〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・健康スポーツ局会議

〈生涯スポーツ支援部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・生涯スポーツ支援部会議
- ・北海道マラソン救護班活動支援事業
- ・高野連メディカルサポート支援事業（高野連メディカルサポート連絡協議会への参画）
- ・スポーツ関連へのスタッフ派遣調整事業
- ・スポーツ関連への派遣支援情報ネットワーク構築事業
- ・オリンピック・パラリンピックへのボランティア活動参加支援事業

〈障がい者スポーツ支援部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・障がい者スポーツ支援部会議
- ・パラスポーツ関連へのスタッフ派遣調整事業
- ・パラスポーツ関連への調査事業
- ・パラスポーツ支援ネットワーク構築事業

令和2年度（2020年度）支部事業局事業計画

支部事業局

局長

小林 巧

【活動方針・重点課題】

支部事業局は、各支部の事業計画や予算の立案、事業の実施や決算の報告などを支援します。支部毎に独立した事業が増加する中で、支部内の組織力強化も視野に入れて支援します。

令和2年度は、各支部の学術・教育活動、社会活動、職能活動について全道均一のサービスが行えるよう事業計画を支援し、収支面での調整を図りながら支部の特色（特性）ある活動も支援していきます。また、支部で実施される各局関連事業に関しては、当該局との連携を図ることで、支部事業が円滑に進むよう支援していきます。

【各支部事業】

〈道南支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・派遣事業（函館マラソンメディカルサポート）
- ・派遣事業（高野連メディカルサポート 年3回 春、夏、秋大会）
- ・派遣事業（ダイハツ工業との地域密着プロジェクト事業「健康安全運転講座」）
- ・道南支部理学療法週間事業（函館市NPOまつり出展参加）
- ・道南支部社会部会議（年3回）
- ・道南支部社会部研修会「スポーツリハ研修会（仮）」年3回
(5月、2月の他、令和元年度中止分を追加開催予定)
- ・派遣事業（南渡島地域リハビリテーション推進会議）

《公2：学術振興事業》

- ・道南支部学術教育部会議：年5回(4月、6月、9月、12月、2月予定)
- ・道南支部支部症例検討会：年4回(7月、10月、12月、2月予定)
- ・道南支部研修会：年5回(7月、9月、11月、1月の他、令和元年度中止分を追加開催予定)
- ・第6回 道南理学療法士学術大会(6月～10月)
- ・第2回 道南理学療法士学術研修大会(9月～2月)
- ・道南支部役員会：4回(4月、7月、10月、1月)

《その他事業》

- ・道南支部協会指定管理者研修会
- ・道南支部職能部会議：年4回(4月、7月、10月、1月予定)
- ・道南支部職能部研修会「地域包括ケア関連（仮）」(上半期)
- ・道南支部新人教育プログラム：年3回(時期未定)
- ・道南支部新人歓迎会：7月
- ・函館蔦屋書店 未来づくりマルシェ『人とつながる、未来とつながる』：11月頃

〈日胆支部〉

《公1:医療保健福祉事業》

- ・日胆支部理学療法週間事業（伊達市ふれあい広場 2020 出展・市民公開講座）
- ・健康フェスタとまこまい 2020
- ・日胆支部高野連メディカルサポート 3 回（高野連室蘭地区大会 春季・夏季・秋季）
- ・各種派遣事業 介護認定審査会審査員の推薦派遣（苫小牧・室蘭・登別）、
西胆振地域リハビリテーション推進会議役員派遣 など

《公2:学術振興事業》

- ・日胆支部講習会 5 回（苫小牧 1 回 室蘭 2 回 伊達 1 回 日高 1 回）
- ・日胆支部症例検討会 6 回（苫小牧 2 回 室蘭 2 回 伊達 1 回 日高 1 回）
- ・日胆支部役員会 2 回
- ・日胆支部地区運営委員会 8 回（苫小牧・室蘭・伊達、日高 各 2 回）

《その他事業》

- ・日胆支部新人研修プログラム選択研修（室蘭）
- ・日胆支部新人歓迎会 4 回（苫小牧・室蘭・伊達・日高）
- ・日胆支部ニュースの発行 2 回
- ・日胆支部管理者研修会

〈札幌支部〉

《公1:医療保健福祉事業》

- ・札幌支部介護予防事業・健康まつりへの参画（清田：10 月予定）
- ・札幌支部理学療法週間事業～さっぽろ医療&福祉フェスタ～
（7 月 ～てんとう虫テスト、バランス測定の実施 福祉機器展示・紹介等も含む）
- ・札幌支部高野連メディカルサポート（札幌支部予選、全道・南北海道大会：春季、夏季、秋季、計 6 回）
- ・札幌市立高校 高校生職場体験（対象病院施設調整 8～10 月）
- ・札幌支部推薦派遣事業（随時対応）

《公2:学術振興事業》

- ・第 7 回札幌理学療法学会（演題数 10 演題＋特別講演＋新人教育プログラムセミナー：2 月）
- ・札幌支部講習会 2 回（運動器：6 月、中枢：10 月）
- ・札幌支部役員会 3 回

《その他事業》

- ・新人教育プログラムセミナー（11 月、第 7 回札幌理学療法学会内での開催、3+2 テーマ程度）
- ・札幌支部講師バンク・スタッフバンクの管理
- ・札幌支部管理者研修会

〈石狩支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・北広島市元気フェスティバル（8/30）
- ・千歳市健康祭り（9/5）
- ・石狩いきいきフェスタ（10月）
- ・石狩支部理学療法週間事業 高校生理学療法見学・体験（7月～8月）
- ・石狩支部理学療法週間事業 介護予防事業（未定）
- ・石狩支部社会部役員会議：年3回（4月・8月・10月）

《公2：学術振興事業》

- ・石狩支部症例検討会 年3回（5月・10月・12月）
- ・石狩支部役員会議：年4回（4月・8月・11月・2月）
- ・石狩支部事務部会議：年2回（4～12月）

《その他事業》

- ・石狩支部3士会合同研修会（5月～7月）
- ・石狩支部職能部会議：年2回（4月・10月）

〈後志支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・後志支部社会部会議（年2回）
- ・後志いきいき健康まつり 出展（7～10月）
- ・後志支部理学療法週間事業～介護予防教室（7～8月 2ヶ所予定）
- ・各種派遣推進事業

《公2：学術振興事業》

- ・後志支部第1回研修会（未定）
- ・後志支部第2回研修会（未定）
- ・後志支部第3回研修会（未定）
- ・後志支部第4回研修会（未定）
- ・後志支部症例検討会（年2回；7月、2月予定）
- ・後志支部役員会議（年3回；4月、8月、12月予定）
- ・後志支部事務部・会計部会議（年1回）
- ・後志支部学術教育部会議（年2回）

《その他事業》

- ・後志支部新人歓迎会（4～7月）
- ・各団体への新年交礼会出席等
- ・後志地域リハビリテーション広域支援センターへの協力（協賛金納入他）
- ・後志支部職能部会議（年2回）
- ・後志支部第1回職能部研修会
- ・後志支部職能部アンケート調査
- ・後志支部管理者研修会

〈空知支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・空知支部社会部会議（第1回、第2回、第3回）（4月、7月、10月：3回）
- ・空知支部高校野球メディカルサポート（空知支部予選5月（春季）、7月（夏季）、9月（秋季）：3回）
- ・空知支部理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（滝川市、7月）
- ・空知支部理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（三笠市、7月）
- ・空知支部理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（岩見沢市、9月 or10月）
- ・たきかわコスモスマラソン2020（滝川市 9月）
- ・第3回たきかわ介護まつり（滝川市、9月）
- ・2020 ふれあい広場くりやま（栗山町、11月）

《公2：学術振興事業》

- ・空知支部役員会議（第1回、第2回、第3回）（8月、10月、2月：3回）
- ・空知支部第1回研修会：「足部・足関節の基礎知識と理学療法」（砂川市立病院、5月 or6月）
- ・空知支部学術教育部会議（第1回）（1月～3月：1回）
- ・第4回空知理学療法士学術大会（岩見沢市内、11月）
- ・空知支部第1回症例検討会（滝川脳神経外科病院、7月）
- ・空知支部第2回症例検討会（ゆあみーる、1月）

《その他事業》

- ・空知支部全体集会（砂川市立病院、5月 or6月）
- ・空知支部新人歓迎会（砂川市内、5月 or6月）
- ・空知支部第1回職能部研修会：「職場で役に立つ理学療法士になる～褥瘡委員会編～」
（会場未定、7月 or8月）
- ・空知支部第2回職能部研修会：「これからの理学療法士の職域とは（仮）」（岩見沢市内、1月～3月）
- ・空知支部管理者研修会

〈道北支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・道北支部第1回健康増進事業（旭川市健康まつり参加6月予定）
- ・道北支部第2回健康増進事業（理学療法週間7月）
- ・道北支部健康安全運転講座事業（7月と9月の年2回、旭川市と士別市で開催予定）
- ・道北支部高野連メディカルサポート事業（旭川・名寄・宗谷）
- ・道北支部第1回スポーツ支援事業（SWEET GIRL RUN、旭川ハーフマラソン10月予定）
- ・道北支部第2回スポーツ支援事業（バーサーロペットジャパン3月予定）
- ・行政関連会議への支部長出席（上川中部リハ推進会議総会・NPO法人住まいるイン旭川総会）
- ・地域リハビリテーション広域支援センター年会費（上川中部・宗谷）
- ・各種派遣推薦事業

《公2：学術振興事業》

- ・道北支部教育部会議（9月）
- ・道北支部第1回学術研修会（荒木茂氏）開催日未定
- ・道北支部第2回学術研修会（友利幸之助氏）開催日未定
- ・道北支部宗谷地区研修会
- ・道北支部小児症例検討会（6-7月）
- ・道北支部中枢症例検討会（9-10月）
- ・道北支部整形症例検討会（1-2月）
- ・道北支部役員会議（全3回、7月、9月、11月）
- ・道北支部拡大役員会議（2月）

《その他事業》

- ・道北支部職能研修会（12月）
- ・道北支部全体集会（12月）
- ・道北支部新人歓迎交流会（上川中部・宗谷）（4～5月）
- ・道北支部ニュース発行（6回）・編集会議（6回）
- ・道北支部ホームページ更新：随時
- ・関連団体式典への支部長出席（北都保健福祉専門学校入学式、卒業式、旭川医師会新春懇親会）

〈十勝支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・各種推薦派遣事業
- ・十勝支部理学療法週間事業～介護予防～：7月
- ・十勝支部高野連メディカルサポート：5月～9月
- ・帯広市介護予防事業への派遣：5～3月
- ・十勝支部社会部会議（年1回）：4～3月

《公2：学術振興事業》

- ・十勝支部第2回研修会（学術教育部企画）：9月
- ・十勝支部第4回十勝理学療法学術大会（1回）：11月
- ・十勝支部役員会議（年4回）：4月～3月
- ・十勝支部学術教育部会議（年2回）：4月～10月

《その他事業》

- ・十勝支部新人歓迎会：5月
- ・十勝支部第1回研修会（職能部企画）：5～7月
- ・十勝支部内会員名簿の作成と配布：9月
- ・新人教育プログラム選択研修会（1回）：7～8月
- ・十勝支部職能部会議（年1回）：4～3月
- ・十勝支部管理者研修会

〈釧根支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・釧根支部社会部会議（2回）
- ・釧根支部理学療法週間事業（7月）
- ・くしろ健康まつり（10月）
- ・こう福祉21 厚岸町障害者（児）ふれあいフェスティバル（11月）
- ・釧根支部スポーツ支援活動講習会（時期未定）
- ・釧路湿原マラソンサポート（7月）
- ・各種推薦派遣事業

《公2：学術振興事業》

- ・釧根支部役員会議（4回）
- ・釧根支部学術教育部会議（2回）
- ・釧根支部理学療法基礎講習会（1回時期未定）
- ・第2回釧根理学療法学術大会（9～12月頃開催予定）

《その他事業》

- ・釧根支部職能部会議（2回）
- ・釧根支部職能部研修会（時期未定）
- ・釧根支部新人教育プログラム選択研修（時期未定）
- ・釧根支部新人歓迎会（5～7月）

〈道東支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・道東支部理学療法週間事業～香りゃんせフェスティバルへの出展～（7月）
- ・北見市健康まつりへの出展
- ・網走市市民健康まつりへの出展
- ・ハッカの日ジョイントコンサート（9月予定）
- ・北見市ふれあい広場への出展
- ・道東支部体操普及推進事業（4月～3月）
- ・高栄フェスティバルへの出展（8月予定）
- ・道東支部社会部担当者会議（年5回予定）
- ・道東支部地域包括協働事業（同行訪問、施設ケースカンファレンス）
- ・道東支部地域包括協働事業推進会議（年4回：6、8、10、2月予定）
- ・きたみんと体操サポーター養成講座
- ・道東支部講師派遣・推薦事業
- ・道東支部スポーツ支援事業（網走マラソン、9月予定）
- ・道東支部スポーツ支援事業（北見ハーフマラソン、10月予定）

《公2：学術振興事業》

- ・第4回道東理学療法学術大会（7月4日）
- ・第2回道東支部学術研修大会（10月17日）
- ・第1回道東支部研修会（2月予定）
- ・道東支部支部役員会議（年4回予定）
- ・道東支部学術教育部担当者会議（年3回：4、10、2月予定）

《その他事業》

- ・道東支部ニュース発行（年4回：5、9、12、3月予定）
- ・道東支部新人歓迎会
- ・道東支部職能部担当者会議（年4回予定）
- ・道東支部第1回職能部研修会（テーマ北見地域の訪問リハビリについて）
- ・道東支部第2回職能部研修会（テーマ地域の理学療法士がすべき災害の備え）
- ・道東支部高校生対象のリハビリテーション見学について（4月～10月予定）
- ・道東支部新人教育プログラム（年6回予定（6月、8月、10月、11月）